

31
年
目
の
新
た
な
る
挑
戦

近藤嘉宏デビュー30周年記念

ポーランド国立放送

アマデウス室内オーケストラ

情熱的で華麗なショパンのコンチェルト2曲を一夜で

プログラム

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ディヴェルティメント K.136

フレデリック・ショパン

ピアノ協奏曲第2番へ短調Op.21 (弦楽合奏版)

フレデリック・ショパン

ピアノ協奏曲第1番ホ短調Op.11 (弦楽合奏版)

指揮：アンナ・ドゥチマル＝ムローズ

(音楽監督・首席指揮者)

ピアノ：近藤嘉宏

弦楽オーケストラ：アマデウス室内オーケストラ

2025

10.2 [木] 19:00開演(18:30開場)
浜離宮朝日ホール

チケット[全席指定] S:¥13,000 A:¥11,000

* 未就学児の入場はご遠慮ください。

【プレイガイド】・e+ イープラス <https://eplus.jp/>

・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 298-894)

・朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝を除く10:00~18:00)

・アスペン 03-5467-0081 (土日・祝除く10:00~18:00)

発売 6月4日[水] 10:00~ 先行発売 5月28日[水] 10:00~ [イープラスおよびアスペンのみのお取扱い]

主催・お問い合わせ：アスペン 03-5467-0081 後援：ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

* 都合により曲目等が変更となる場合がございます。

Aspen

アマデウス室内オーケストラ(ポーランド国立放送)

Amadeus Chamber Orchestra of Polish Radio

アマデウス室内オーケストラはアグニエシュカ・ドゥチマルによって1968年、ボズナンに設立され、当初は青年音楽国際連合、後にボズナン音楽協会の支援によって運営された。1976年には西ベルリンで開催された「インターナショナル・ミーティング・オブ・ヤング・オーケストラ」においてヘルベルト・フォン・カラヤン・シルバーメダルを獲得する。1977年にポーランド放送所属のオーケストラとなり、アグニエシュカ・ドゥチマルの指揮の下、アマデウス室内オーケストラとなった。彼らは非常に多くの作品を初演してきているが、そこにはJ.コフラーによって室内オーケストラ版に編曲されたJ.S.バッハの“ゴールドベルク変奏曲”も含まれる。これまでにモーリス・アンドレ、マルタ・アルゲリッチ、パトリック・ガロワ、ケビン・ケナー、ミッシェル・マイスキー、ジェレミー・メニューイン、イーゴリ・オイストラフ、ワディム・レービン、グレゴリー・ソコロフ等のアーティストと共演している。また、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリン・フィルハーモニー、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、ウィーン楽友協会、ミラノのスカラ座、そして東京オペラシティコンサートホールなど世界各国の有名なコンサートホールで演奏している。



アンナ・ドゥチマル＝ムローズ

(音楽監督・首席指揮者)

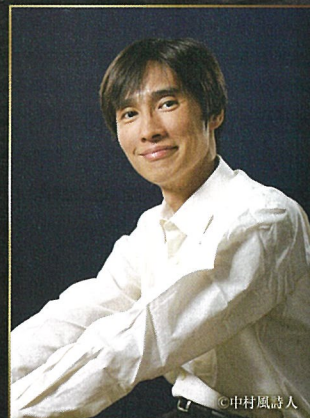
Anna Duczmal-Mróz (Music Director, Principal Conductor)

アマデウス室内オーケストラの初代音楽監督のアグニエシュカ・ドゥチマルの娘として生まれる。ヴァイオリンを始め、ハノーファー音楽演劇大学でクリストフ・ヴェグジンのもとで研鑽を積んでいる時に、大植英次から指揮者としての才能を認められ2001年から2005年まで師事。NDRハノーファー北ドイツ放送フィルを卒業コンサートで指揮。2003年にアマデウス室内オーケストラでデビュー。2006年からはワルシャワ国立フィルでアントニ・ヴィットの副指揮者をつとめた。2009年よりアマデウス室内オーケストラ首席指揮者、2024年9月からは母の後を継いで同オーケストラの音楽監督となった。これまでにワルシャワ国立フィル、ポーランド国立放送響、シンフォニア・ヴァルソヴィア等のポーランドの主要オーケストラをはじめシカゴ交響楽団ほか各国オーケストラを指揮している。

近藤嘉宏 (ピアノ)

川崎市生まれ。桐朋学園大学を首席卒業。1987年日本音楽コンクール第2位。大学卒業後ミュンヘン国立音楽大学マイスターコースにおいて名匠ゲルハルト・オピッツ氏のもと、さらなる研鑽を積み、1992年ミュンヘン交響楽団との共演でデビュー。1995年に国内正式にデビュー、翌1996年にはCDデビューを果たし現在、30タイトル以上のCD、DVDを国内外でリリースしている。2024年6月にはクラシックでは日本発の試みとなる配信限定アルバム「Brilliant Virtuoso」をリリースし話題を呼ぶ。これまでに数多くの国内外のオーケストラに客演し、ネーメ・ヤルヴィ、トーマス・ザンデルリンク、クリスティアン・マンデアル、外山雄三、秋山和慶、広上淳一などのマエストロと共演を重ね、その音楽性に厚い信頼が寄せられている。2025年デビュー30周年を迎え、円熟味を増しつつも新たな挑戦を続け、繊細な感性から紡ぎ出される色彩豊かな美音としなやかな音楽性を持ち味に、着実に巨匠への道を歩んでいる。

Yoshihiro Kondo (Pf)



©中村風詩人